

法学委員会 法学研究者養成分科会 (第 26 期 第 3 回)
議事要旨

1. 開催日時：2025 年 3 月 26 日（水） 午後 7 時から 9 時 8 分まで
2. 開催場所：ZOOM による会合
3. 出席者：飯島淳子、片山直也、川嶋四郎、國分典子、佐藤岩夫、田中教雄、中山竜一、
野口貴公美、林真貴子、藤本亮、本庄武、安田拓人
欠席者： 只野雅人、丸谷浩介、山田八千子、亀本洋、豊崎七絵、橋本祐子
(敬称略)

4. 議 題

(1) 前回のまとめ

提言、見解の発出は時間的に厳しい
シンポジウムの可能性があるか
書籍を刊行することも考えられる

(2) 過去の学術会議関連分科会の提言等と今期の活動

- ・ 2011 年提言では、研究大学院の人的物的基盤整備、法科大学院がそれを補完、系統的
研究指導体制、経済的支援、研究職業人との位置付け、創造的批判的な法的思考の涵養、
法学部教育が双方の下支えに等の意見が出されている
- ・ 2011 年提言後の状況についてアンケートを取ることは基礎資料収集という意味があ
る。分野ごとのアンケートも検討に値する。
2023 年シンポジウムは寄せ集め的で、異なる視点が必要
学生向けアンケート、法科大学院出身教員向けアンケートも考えられる
2017 年シンポジウムで用いた質問紙は活用可能
- ・ 2026 年 8 月終わりから 9 月中頃にシンポジウムを行う場合、2026 年 2, 3 月に申請する
必要があり、それ以前にプログラムを固める必要がある。アンケート結果の分析が 3 か
月程度だとすると、夏までにアンケートを作成する必要がある
川嶋委員長がたたき台を作り、メール会議で意見をもらって夏までに確定させ、9 月中
までに会議を開いて成案を得る

(3) 学術会議法人化の現状

- ・ 法学委員会の会合では、危機感を抱き、法案の問題点を指摘
賛同者を 30 人集めれば議案を提出できるので、法案の修正を求める提案をするため人

集め中

(4) その他

次回会合は 2025 年夏ごろに開催を予定する。

以上

<配布資料>

1. 日本学術会議公開シンポジウム「法科大学院時代の法曹養成・法学的研究者養成の課題と展望」チラシ (2017 年)
2. 日本学術会議 (第 23 期) 法学委員会、同「学術と法」分科会「法学的研究者養成及び法曹養成に関するアンケート中間報告書」(2017 年)
3. 佐藤岩男『『法学的研究者養成・法曹養成アンケート』主な結果の紹介と論点中間報告書』(2017 年)
4. 日本学術会議 (第 23 期) 法学委員会、同「学術と法」分科会「法学的研究者養成及び法曹養成に関するアンケートひな型」(2017 年)